

京都市では、各施設の運営がどのようになっているか、税金がどのように使われているかを市民の皆さまに分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市営保育所の運営について

市営保育所は、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活を送り、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健全な心身の発達を図ることを目的とし運営しています。

保育所の収入と支出

< 保育所の利用料と利用者数 >

有料の方：階層区分に応じて 1,700 円～95,000 円

無料の方：生活保護世帯、市民税非課税世帯、幼児等

令和元年度の利用者数 1,517 人（うち有料 425 人、無料 1,092 人）

総額 28.5 億円

< 支出 >

利用者 1 人当たりの運営経費 1,878,400 円 (A)

事業費等 193,700 円	職員人件費 1,684,700 円
-------------------	----------------------

< 収入 >

利用者 1 人当たりの
収入 197,800 円 (B)

総額 3 億円

総額 25.5 億円

補助金等 40,800 円 (1%)	保育料 157,000 円 (9%)
--------------------------	--------------------------

差額 1,682,500 円 (90%)

市民の税金等で負担 (公費で負担)

有料の方と無料の方を含む利用者 1 人当たりの額です

いずれも概数
10 円単位で四捨五入

- 公費負担がない場合の単純な試算を行うと、保育料は現行の 11.7 倍の額が必要となります。
- 施設を利用しない方も含めた市民の負担 (公費負担) により、現行の保育料で施設が運営されています。

施設の運営費は、利用者の負担 (保育料等) と公費負担 (市民の皆様になめていただく税金) などにより賄われています。

施設運営の現状について「見える化」を進め、施設の状況に応じた収支改善の取組 (維持管理コストの見直し、施設の目的を踏まえた稼働率の向上、受益者負担の適正化等) を進めてまいります。